



吉井中学校通信

～高い志を持ち、心豊かでたくましい生徒の育成～

うきは市立吉井中学校
第 9 号

令和 5 年 9 月 15 日 発行

文責 校長 竹並俊和

3年生「命について考える授業」

8月29日(火)5・6校時に命について考える授業を行いました。講師に助産師の寺田恵子先生を招いての講演会でした。熱中症対応のため、白壁ホールで開催しました。演題は、『赤ちゃんの誕生に向き合ってきた助産師のメッセージ』寺田さんは、H15年の佐世保の小学生女児殺傷事件を受け、事件の重大さに、子ども達と関わっている大人として、命の大切さを真剣に伝えなければならないと強く感じ、駆り立てられるような思いで活動を開始されています。助産師として、多くの誕生に立会い“いのちの誕生の神秘”と“生まれる力と生きる力”の素晴らしさを感じる日々。一番大切なものは命であることを伝えることは、大人としての責務でもありと感じ講演活動をおこなわれています。講演においては3つの目的を大切にされています。①生徒に「あなたは大切な人」であることを伝えること。自分自身は生きる価値のある存在として認めることができるように、誕生の神秘を伝え、自分は自分のままでいいという自尊感情を育む機会としてもらいたい。②保護者に、お産の場面を回想してもらうことで“生まれてくれた時”の感動と“育ててくれている”ことのありがたさを、再確認する機会としてもらいたい。反抗期にある子ども達に対して、忘れていたお産の感動と無償の愛を思い出していただくきっかけになってほしい。③思春期の子ども達に、生まれることと産むことの意味を考えてもらい、これから親になる可能性のある立場として、命の尊さについて実感してもらう機会にしてほしい。というものです。講演会後に講師の先生へ向けて書いた3年生の感想をいくつか紹介します。

○今日の講演会で、今生きていて、普通に生活できているのは、あたりまえのことではないとても幸せなことで、この命は、自分だけのものではない、母や周りの人にとっても大切に育てられ、思われてきた命なのだ分かりました。普段生活する中でこのような話を聞くことは今までほぼなかったの、母への思いなどが少し変わった感じがしました。この命は母がいろいろな思いを持ちながらも、今まで大切に生きてくれた大事な命で、この命を生んでくれたのは、まぎれもない母であることを今日改めて理解できました。今日の講演で考えたことや初めて知ったことなどを含めて母に産んでくれてありがとう。ということ伝えたいと思います。

○今日の話聞いて、私は命とはそんなに軽々しく言えるものではないなと思いました。私のお母さんがどれだけつらい思いをして、死にそんな思いをして産んでくれたかが身に染みてわかりました。私の今の普通の生活でもお母さんが産んでくれなかったら・・・普通じゃなかったら・・・と思うとすごく胸が苦しくなりました。この生活が普通ではなく周りの人たちが苦勞して作ってくれた環境なんだと思いました。お母さんには感謝の気持ちがたくさんあります。お母さんにはもう二度と変なことは言えないなと思いました。親への感謝を忘れないように、これまで通り過ごせていけたらいいなと思いました。

○私は、今日の話聞いて、命は大切なものだ改めて知ることができました。母からの話を聞いて新しい生命の誕生は楽そうに思えるが、母が辛い、きつい、痛い思いの中で産まれることを初めて知りました。今日の話聞く中で、母の話がよみがえってきました。私自身も学校が嫌で、いなくなってしまうと思うことが何度もあったけど、今、生きているのが当たり前じゃなくて奇跡なんだということがわかりました。これからは、生きていることに感謝し、他の人のことを大切にしていきたいです。今日はお忙しい中、私たちのために講演会をしてくださりありがとうございました。

○僕の命はとっても大切で大事なものであると知ることができました。いろんな人々や環境に恵まれて産まれてきた僕は本当に大切にされた人だなと思いました。これから先、僕が僕として生きていくために、自分を好きになりたいと思いました。周りの人々や生活環境などに流されず、自分の意思を持って生きていきたいと思いました。たった一つの命で人生は一度きりだから、楽しんで、笑顔で、自分らしく生きていきたいです。「いのち」について考える貴重な時間にできてよかったです。自分の未来は他人でなく自分で決めるから、後悔ないように責任を持ちたいです。

○僕は今日お話を聞いて自分自身を大切にすることと家族や知り合いの人への感謝を忘れてはいけないなと思いました。出産をするのはとてもきつくて命がけとは聞いてきたけど映像や寺田先生の言葉から想像以上の事だと思いました。自分を産むために命懸けで頑張ってくれたお母さんにも、そんなお母さんを支えてくれたお父さんに

も出産に関わってくれた関わってくれた全ての人に感謝したいと思いました。また、そのことを教えてくれた寺田さんにも感謝で一杯です。子ども一人産むのに相当な苦勞があるのに兄弟まで与えてくれて本当にうれしいしありがたいです。これからは精一杯生きていきたいと思いました。今回本当にありがとうございました。

ここに紹介した以外にも、多くの3年生が感じとったことがたくさんあります。感じたこと気づいたことを大切にしていってください。貴重なお話をいただいた講師の寺田恵子先生、ありがとうございました。

2年生職場体験を通して

職場 Aコープよしい 2年1組 合原 涼王

僕は今回、初めてAコープの仕事体験してみ、「働くこと」の大切さを知ることができました。3日間、Aコープの皆様と一緒に働いて楽しかったのですが、大変なこともたくさんありました。特に日配・グロサリーで陳列中にお客様から商品がどこかを聞かれることがありました。僕は対応できずに困ってしまいました。これからはどんな質問でも返せるコミュニケーション能力をつけていきたいです。



職場 千草保育園 2年2組 梶原ひより

私は今回の職場体験では「働くこと」の大変さを身をもって知ることができました。常に園児の安全など周りを気にしながら行動するのは大変だったけどこの職場体験のおかげで今まで以上に常に周りを見て行動する力がついたので、これからの生活にも役立てていきたいです。また、「お世話をすること」の大変さも知ることができました。今回はお世話をする側だったけど、これからは普段私をお世話してくれている身の周りの人たちへの感謝を今まで以上に頭に入れて生活していきたいと思いました。



職場 にじの家 2年3組 篠原維知子

私はこの3日間で、高齢者と関わる仕事のイメージが、「大変そう」から「楽しい」に変わりました。また『働く』ことに対しても、まだ知らない大変なこともあると思うけど、前向きな気持ちになりました。これから年齢が上がるとともに自分の役割は重要なものになっていくと思うけど、今回の経験を活かして責任を持ちつつ、楽しんでおこなっていこうと思いました。



職場 うきは市立図書館 2年4組 多田颯太

僕は、今回、初めて仕事を体験してみ「人のことを考えて正しく接すること」の大変さを知り、大切だと思いました。特にカウンター業務ではお客様が見たい本を自分たちが貸し出しているのでもしでもいい気持ちで借りてもらい、返していただきたいという気持ちで接客をしました。学校でも人の気持ちを考え行動することは大切だと思うのでこれからの学校生活でも生かしていきたいと思いました。



職場体験に参加した生徒は、多くのことを地域で働く方たちから伝えてもらっています。これからの自分自身の進路選択も含め、これからの自分の学校生活に、今回学んだことを生かしていってもらいたいです。受け入れてくださった地域の皆様、貴重な時間を与えていただきありがとうございました。

《連絡》

アレルギーに関するアンケート等は、年度初めに行っています。年度途中で新たに分かったアレルギーの原因などがありましたら、担任、栄養教諭、養護教諭等中学校へご連絡ください。よろしくお願ひします。